



電子放出素子の最近の展開

主催 公益社団法人日本表面科学会

協賛(依頼中を含む) 東京工業大学元素戦略研究センター、東京工業大学応用セラミックス研究所
附属セキュアマテリアル研究センター、日本学術振興会真空ナノエレクトロニクス第158委員会、
Society for Information Display(SID) 日本支部

固体からの真空中への電子放出は、表面が関与する典型的な量子現象として20世紀初頭から活発に研究されてきました。電界、熱、光、あるいはイオンによって引き起こされる電子放出は、それぞれ冷陰極、熱陰極、光陰極、二次電子放出素子として、多くの電子・電気機器において中心的な役割を果たしています。既知の電子放出特性の改善は、省消費電力、省エネルギーに直結し、新規な電子放出機構は、そのまま新しい計測・加工技術、ディスプレイ技術、また照明技術を生み出すと考えられるため、日本においても活発な研究開発が行われています。本研究会では、日本の産業界における電子放出素子開発の取り組みを、第一線で活躍中の講師の方々にお話しいただきます。

1. 開催日時 2013年3月8日(金曜日) 10:30-16:00
 2. 場所 東京工業大学すずかけ台大会館(すずかけホール) 集会室1
 3. プログラム
- 10:30- 開会挨拶
深津 晋(東京大学大学院総合文化研究科・表面科学会企画委員長)
- 10:35- 「進化を続ける光電子放出デバイス」
浜名 康全(浜松ホトニクス)
- 11:15- 「電顕用の高輝度単色電子源と表面」
大嶋 卓(日立中央研究所)
- 11:55- 「ダイヤモンド負性電子親和力表面からの電子放出過程とその応用」
竹内 大輔(産総研エネルギー技術研究部門)
- (12:35-13:40 休憩)
- 13:40- 「PDP用保護膜材料の評価技術 - 二次電子放出特性向上のために」
森田 幸弘(パナソニック)
- 14:20- 「オージェ過程に基づく誘電体からの二次電子放出機構」
本山 靖(NHK放送技術研究所)
- 15:00- 「C12A7 エレクトライドの電子放出特性とその応用」
渡邊 暁(旭硝子)
- 15:40- 東工大における取り組み/閉会挨拶
須崎 友文(東京工業大学応用セラミックス研究所)

4. 参加費（消費税含む、当日会場にて受付）

会員（協賛学協会等構成員含む）2000円、学生1000円、一般4000円

5. 申込方法

参加定員 72名

ウェブサイト(<http://www.sssj.org/>)から、もしくは e-mail、はがき、または FAX に次の項目を記入し、下記の日本表面科学会事務局宛お申し込みください。

氏名（ふりがな）、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

参加区分（会員（協賛学協会等構成員を含む）、学生、一般）

締め切り：2013年2月28日（木曜日）

*お申込に際しご記載いただきましたメールアドレスは、日本表面科学会が主催する本件以外のセミナー・講演会などのご案内にも使用させていただく場合がございます。ご案内が不要な方はお手数ですがその旨お申し出ください。

6. 問い合わせ先

須崎 友文

東京工業大学応用セラミックス研究所

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-R3-36

TEL/FAX: 045-924-5360 e-mail: susaki@msl.titech.ac.jp

7. 会場案内

東京工業大学すずかけ台大学会館（すずかけホール） 集会室 1

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259 TEL:045-924-5993

東急田園都市線 すずかけ台駅 下車徒歩5分



公益社団法人日本表面科学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-13 本郷コーポレイション 402

TEL:03-3812-0266 FAX:03-3812-2897 email:shomu@sssj.org